

第 119 号

Super Highway

春闘速報 6

発行日
2024. 3. 7

J R 東労組バス関東本部

春闘集会アピール

私たちは本日、「JR 東労組バス関東本部 2024 春闘勝利！総決起集会」を開催し、各分会の仲間から力強い決意表明を受け、2024 春闘を全力でたたかい抜くことを意思統一した。JR 総連は「一律賃上げ獲得・すべての要求実現！統一要求、統一闘争で全職場、全組合員と共に 2024 J R 総連春闘をたたかい抜こう！」「J R 総連の旗の下、労働組合の力を発揮し、低額相場と労働者の分断、競争、格差拡大に抗し、労働者の団結、連帯、共闘を実現しよう！」と方針を掲げ、ベア一律 12000 円を統一要求とし、2024 春闘に突入した。私たち JR 東労組 JR バス関東本部も、統一要求に則り、組合員の賃金を 12000 円引き上げること、定期昇給の完全実施、21 春闘でのカット分の別途支給、65 歳定年制の導入など 7 項目の申し入れを行った。

消費者物価指数は上昇を続け、食料品、光熱費を中心に値上げが広がり、家計の重い負担となっている。家計の消費は圧迫され、組合員・社員の生活はこれまで以上に苦しさを増している。2021 春闘では定期昇給を 4 分の 2 と回答された。加えて長引くコロナ禍の影響もあり、生活給の一部でもある期末手当も、低額での回答を余儀なくされてきた結果、組合員の実質賃金は大きく目減りし、将来への不安やモチベーションの低下により多くの社員が退職を決断している現実がある。改善基準告示改正が迫り、全国的にバス運転手不足が叫ばれる中、要求の満額回答こそが、組合員とバス関東会社の明るい未来への第一歩となる。

2024 春闘を前にバス関東会社は「55 歳基本給減額制度」の一部見直し、「東京都在勤の若年社員に対する基本給の増額」などを我々に提案した。長きに渡る私たちの要求により、「55 歳基本給減額制度」の廃止へ一歩進んだことは事実であるが、その実は上昇する最低賃金に抵触することを避けるための措置であり、賃金が低水準であることに変わりはない。それどころか、地域格差のある初任給の増額は東京都在勤者以外との賃金格差まで広がった。格差は共に働く仲間を分断し、モチベーションの低下を招くものである。私たち JR 東労組は現実を見て、真実を捉え、強く団結し、怒りの声を上げていかなければならない。

JR バス関東本部に加入する全ての組合員が JR 東労組の旗の下に結集し、強い団結力を背景に全職場から交渉を支え、ベア満額獲得！生活向上実現！労働諸条件改善実現！2024 JR 東労組 JR バス関東本部春闘勝利を勝ち取るために、ここに決起しよう！
以上アピールする。

J R バス関東で働く仲間を一つに！